

瀧川政次郎博士関係資料抄 (九訂稿)

(令和 6 (2024) 年 3 月 5 日 (火) 現在)

[目 次]

(補正経緯)	2
【参考 HP】	4
【関連 HP】	7
はじめに	9
1 瀧川政次郎博士略年譜・著作目録・回顧録その他	11
* 略年譜・著作目録	12
* 回顧録、序文その他	14
2 小林宏先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄	18
(参考) 小林宏先生御執筆「律令研究会」関係著作抄	20
3 瀧川政次郎博士関係文献抄	22
(参考 1) 嵐義人先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄	30
(参考 2) 島善高先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄	32
4 「法学博士 瀧川政次郎像」の件	34
5 その他	34

(補正経緯)

- HP 初載:
- ・令和 4 (2022) 年 9 月 10 日 (土) 初稿作成
 - ・令和 4 (2022) 年 9 月 14 日 (水) 改訂稿作成
(『古代文化』第 44 巻第 11 号(◇瀧川政次郎博士を偲んで。平成 4 (1992) 年 11 月 20 日刊) 等について再調査した。阪本尚文先生及び辻万理夫氏の御示教に与った。厚く御礼申し上げます。)
 - ・令和 4 (2022) 年 9 月 28 日 (水) 再訂稿作成
全体にわたり補正、追加した。
 - ・令和 5 (2023) 年 7 月 10 日 (月) 三訂稿作成
今般西英昭先生から『瀧川政次郎先生を偲ぶ』(回天追悼特集号和歌山市・回天発行所、平成 4 (1992) 年 6 月 1 日刊)をお教えいただいたので、追加した。西先生の御厚情に深く感謝申し上げます。なお、その他全体にわたり補正、追加した。
 - ・令和 5 (2023) 年 7 月 17 日 (月) 四訂稿作成
今般北康宏先生の貴重な『中田薫』(人物叢書、吉川弘文館、令和 5 (2023) 年 8 月 1 日刊)が刊行されたことから追加した。
<http://www.yoshikawa-k.co.jp/book/b626819.html>
 - ・令和 5 (2023) 年 10 月 24 日 (火) 五訂稿作成
頃日西英昭先生から新たに様々な御示教に与ったことから、「3 瀧川政次郎博士関係文献抄」に「(参考 2) 嵐義人先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄」を新規に作成するとともに、全体にわたり補正、追加した。西先生に厚く御礼申し上げます。
 - ・令和 5 (2023) 年 11 月 11 日 (土) 六訂稿作成
西英昭先生から重ねて御示教に与ったことから、全体にわたり少しく修正した。西先生の御厚意に深謝申し上げます。
 - ・令和 6 (2024) 年 1 月 7 日 (日) 七訂稿作成
西英昭先生から新たに様々な御示教に与ったことから、全体にわたり少しく修正した。西先生の御厚意に深謝申し上げます。なお、従前の「1 瀧川政次郎博士略年譜・著作目録」を「1 瀧川政次郎博士略年譜・著作目録・回顧録その他」に変更し、多少追加した。
 - ・令和 6 (2024) 年 1 月 14 日 (日) 八訂稿作成
七訂稿に続き、全体にわたって一、二修正、補足した。西英昭先生に感謝いたします。なお、本八訂稿は下記にも収載した。
 - ・『CD 版 上山安敏先生・柴田光蔵先生・西村稔先生・宮崎道三郎博士・池辺義象氏・小林宏先生・千賀鶴太郎博士・戸水寛人博士略年譜・著作目録 附録:「日本ローマ法・法制史学者等略年譜・著作目録・追悼辞」掲載資料抄(追補)中田薫博士・瀧川政次郎博士・三浦周行博士・牧健二博士各関係資料抄 一ローマ法・法制史学者著作目録選(第十六輯)一』(CD 版、

令和 6 (2024) 年 1 月 1 日刊)

・令和 6 (2024) 年 3 月 5 日 (火) 九訂稿作成

八訂稿に続き、全体にわたって一、二修正、補足した。特に八訂稿の「*回顧録、その他」は「*回顧録、序文その他」に拡大変更した。西英昭先生、瀬賀正博先生の御示教に感謝いたします。なお、本稿は電子版であることに鑑み、今後は黒赤 2 色使用にすることとした。

【参考 HP】

(令和 4 (2022) 年 9 月 14 日、同年 9 月 28 日、同 5 (2023) 年 11 月 11 日、同 6 (2024) 年 1 月 7 日各一部修正)

* 法制史学会 HP (平成 14 (2002) 年 10 月 5 日公開、平成 24 (2012) 年 4 月 1 日移転)

〈<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jalha/toppage.htm>〉 ⇒

(新) 〈<https://www.jalha.org/>〉

・ 〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8A%E5%B1%B1%E5%AE%89%E6%95%8F>〉

* 全体 HP

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>〉

・ 「日本のローマ法」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Romanist2003.htm>〉

・ 「法制史学者著作目録選 (WEB 版)」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・ 「法制史コーナー」 所載項目一覧 (令和 4 (2022) 年 9 月 14 日 (水) 追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichiran002.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 宮崎道三郎博士略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miyazaki001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 池辺義象氏著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ikebe001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 三浦周行博士関係資料抄 (令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miura001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 中田薫博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakata001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 内藤吉之助教授略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/naito001.pdf>〉

・ 本 HP 本稿: 瀧川政次郎博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takikawa001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 金田平一郎博士略年譜・著作目録

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kaneda001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 小早川欣吾先生略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 「小早川欣吾先生記念メダルによせて

—小田輝子氏「叔父小早川欣吾の思い出」とともに—

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/odateruko.pdf>〉

・ 本 HP 別稿: 『小早川欣吾先生東洋法制史論集』収録論稿目次その他」

〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa_toyohoseishi.pdf〉

- ・本 HP 別稿：牧英正博士著作目録等抄
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/maki001.pdf>〉
- ・本 HP 別稿：小林宏先生著作目録等抄
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashi001.pdf>〉
- ・本HP別稿：千賀鶴太郎博士著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/senga001.pdf>〉
- ・本HP別稿：戸水寛人博士著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tomizu001.pdf>〉
- ・本HP別稿：春木一郎博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf>〉
- ・本HP別稿：原田慶吉教授略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm>〉
- ・本HP別稿：船田享二博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm>〉
- ・本HP別稿：田中周友博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm>〉
- ・本HP別稿：栗生武夫先生略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf>〉
- ・本 HP 別稿：「栗生武夫先生『婚姻法の近代化』の中訳本について」
 〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf〉
- ・本 HP 別稿：「『栗生武夫先生随筆拾遺』作成の思い出
 —『栗生武夫先生随筆拾遺—栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯—」
 〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf〉
- ・本 HP 別稿：PDF 版『栗生武夫先生随筆拾遺—栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯—』
 〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf〉
- ・本HP別稿：西本穎博士著作目録等抄
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf>〉
- ・本HP別稿：久保正幡博士著作目録等抄
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf>〉
- ・本HP別稿：井上周三教授関係資料抄
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf>〉
- ・本HP別稿：上山安敏先生著作目録等抄
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf>〉
- ・本HP本別稿：笥克彦博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf>〉
- ・本HP別稿：近藤英吉博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kondo001.pdf>〉

- ・本HP別稿：増田福太郎博士関係資料一斑
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/masuda001.pdf>〉
- ・本HP別稿：山崎丹照先生著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf>〉
- ・本HP別稿：戴炎輝博士略年譜・著作目録
 〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf〉

* 和田徹氏HP「私立玉川用賀村中央図書館（新館）」（令和5（2023）年12月31日閉館）

〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/>〉

- ・春木一郎電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm>〉
- ・原田慶吉電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/harada.htm>〉
- ・栗生武夫電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/kuryu.htm>〉
- ・いろいろ電子文庫
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/iroiro.htm>〉
- ・PD 図書室（「梅雨空文庫」のデータを整理してまとめたもの）
 〈<http://books.salterrae.net/about/tuyuzora.html>〉

（註）早くには「船田享二電子文庫」の平成22（2010）年開設予告もなされていた（平成14（2002）年12月14日初出か?）が、その後平成18（2006）年6月3日に「2006/06/03 船田享二電子文庫計画中止」の表示が出た。

* 「西村稔先生（1947～2019）年譜・著作目録（阪本尚文編）（初版）（2020（令和2）年4月現在）」⇒爾後逐次改訂中⇒（最新版：令和5（2023）年11月現在第8稿掲載）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimura001.pdf>〉

（註）本著作目録は、阪本尚文編『Aún aprendo それでもまだ学ぶぞ——西村稔先生追悼集』（私家版、2020（令和2）年2月28日刊（福島大学学術機関情報リポジトリ所収〈<http://hdl.handle.net/10270/5154>〉））に収録した「西村稔先生年譜・著作目録」に逐次修正を加えつつあるものである。

【関連 HP】

(令和 4 (2022) 年 11 月 20 日、同 5 (2023) 年 1 月 26 日、7 月 10 日、同 6 (2024) 年 1 月 7 日各一部修正)

- ・法制史学会: <<https://www.jalha.org/>>
- ・国立国会図書館: <<https://www.ndl.go.jp/>>
- ・国立国会図書館デジタルコレクション <<https://dl.ndl.go.jp/>>
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス (個人送信) (令和 4 (2022) 年 5 月 19 日開始)
<https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html>
- ・(下記: 令和 5 (2023) 年 1 月 26 日追加)
<https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2022/221202_01.html>
「[ホーム](#)>[新着情報](#)>[ニュース](#)> 「国立国会図書館デジタルコレクション」をリニューアルします (令和 4 年 12 月 21 日)
「2022 年 12 月 2 日「国立国会図書館デジタルコレクション」をリニューアルします (令和 4 年 12 月 21 日)」⇒
「国立国会図書館は、令和 4 年 12 月 21 日に、[国立国会図書館デジタルコレクション](#)をリニューアルします。リニューアルにより、全文検索可能なデジタル化資料が増加するとともに、閲覧画面が改善されます。詳しくはプレスリリースをご覧ください。」
- ・(下記: 令和 6 (2024) 年 1 月 7 日追加)
「2024 年 1 月 5 日 新「国立国会図書館サーチ」を公開しました」⇒
「国立国会図書館は、従来のウェブサービス「国立国会図書館検索・申込オンラインサービス (国立国会図書館オンライン)」及び「国立国会図書館サーチ」を統合・リニューアルし、令和 6 年 1 月 5 日 (金) から、新「国立国会図書館サーチ」としてサービスを開始しました。」
<https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2023/240105_01.html>
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー
<<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>>
- ・CiNii: <<https://ci.nii.ac.jp/>> ⇒ <<https://cir.nii.ac.jp/>> (【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について)、<<https://ci.nii.ac.jp/books/>>
- ・朝日新聞クロスサーチ (令和 4 (2022) 年春「聞蔵Ⅱビジュアル」を全面リニューアル)
<<http://www.asahi.com/information/db/2for1.html>>
- ・ヨミダス歴史館
<<https://database.yomiuri.co.jp/about/rekishikan/>>
- ・毎索 (マイサク)
<<http://xn--https-ft8kv51h//mainichi.jp/contents/edu/maisaku/>>

- ・雑誌記事索引集成データベース「ざっさくプラス」(令和5(2023)年1月26日追加)
〈<http://info.zassaku-plus.com/>〉
〈 https://zassaku-plus.com/service/login?return_url=https%3A%2F%2Fzassaku-plus.com%2F〉

はじめに

瀧川政次郎博士（1897～1992）関係資料については、もとより膨大なものがあるが、本稿は、今般別の所用があつて急遽作成した断片資料に多少の修正を施したものにすぎない。コロナ禍等現時諸般の事情で原本未確認のものが多いことをお断りするとともに、今後逐次補訂できればと願う。作成に当たっては、小林宏先生、高塩博先生はじめ諸先生方より御懇篤な御示教を賜った。二年前の九月に長逝された瀧川博士晩年の御高弟島善高先生にも往時格別の御高配に与った。ここに記して深甚の謝意を表する次第です。

（令和4（2022）年9月10日謹誌）

（追記1）

その後の補訂（特に『古代文化』第44巻第11号）関係）について、宮部香織先生、阪本尚文先生及び辻万理夫氏に大変お世話になった。厚く御礼申し上げます。

（改訂稿：令和4（2022）年9月14日謹誌）

（追記2）

西英昭先生から『瀧川政次郎先生を偲ぶ』（回天追悼特集号、和歌山市・回天発行所、平成4（1992）年6月1日刊）の御教示をいただいたので追加した。西先生の御厚情に深く感謝申し上げます。

（三訂稿：令和5（2023）年7月10日謹誌）

（追記3）

頃日西英昭先生から御示教に与ったことから、「3 瀧川政次郎博士関係文献抄」に「（参考2）嵐義人先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄」を新規に作成した。今後更に補正に努めたく思っている。

（五訂稿：令和5（2023）年10月24日謹誌）

（追記4）

西英昭先生から重ねて御示教に与ったことから、全体にわたり少しく修正した。西先生の御厚意に深謝申し上げます。

（六訂稿：令和5（2023）年11月11日謹誌）

（追記5）

西英昭先生から重ねて御示教に与ったことから、全体にわたり少しく修正した。西先生の御厚意に深謝申し上げます。

（七、八訂稿：令和6（2024）年1月7、14日謹誌）

(追記 6)

西英昭先生、瀬賀正博先生から御示教に与ったことから、全体にわたり少しく修正した。
西、瀬賀両先生の御厚意に深謝申し上げます。

(九訂稿: 令和 6 (2024) 年 3 月 5 日謹誌)

1 瀧川政次郎博士略年譜・著作目録・回顧録その他

* ウィキペディア

(瀧川政次郎博士: 1897 (明治30) .5.26～1992 (平成4) .1.29。御旧居: 杉並区成田東三丁目)

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%80%A7%E5%B7%9D%E6%94%BF%E6%AC%A1%E9%83%8E>〉

* 国立国会図書館 (令和6 (2024) 年1月7日追加)

〈<https://www.ndl.go.jp/>〉

⇒国立国会図書館サーチ

「2024年1月5日 新「国立国会図書館サーチ」を公開しました」

〈https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2023/240105_01.html〉

⇒ 〈<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>〉

⇒ 「瀧川政次郎」

〈<https://ndlsearch.ndl.go.jp/search?cs=bib&display=panel&f-ht=ndl&keyword=%E7%80%A7%E5%B7%9D%E6%94%BF%E6%AC%A1%E9%83%8E>〉

* 略年譜・著作目録

昭和32（1957）年

・『瀧川博士還暦記念論文集（一）東洋史篇』（瀧川博士還暦記念論文集刊行委員会編輯、昭和32（1957）年7月10日刊）肖像、献呈辞、「瀧川政次郎博士年譜」（1～4頁）、「瀧川政次郎博士著作年表」（正田健一郎（1925～2011?）・利光三津夫（1927～2009）編、5～13頁）、島田正郎「序」

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/2970195/1/1>〉（令和6（2024）年1月7日追加）

昭和42（1967）年

・「瀧川政次郎博士略年譜、著書、編並に解題」『國學院法學』第5巻第2号（通巻第15号、法学博士 瀧川政次郎教授古稀記念号、昭和42（1967）年10月1日刊）222～225頁（令和6（2024）年3月5日追加）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689481/1/1>〉 115～117齣

昭和59（1984）年

・『律令制の諸問題 瀧川政次郎博士米寿記念論集』（汲古書院、昭和59（1984）年5月26日刊）肖像、「瀧川政次郎博士略年譜」（1～4頁）、「瀧川政次郎博士著作目録」（5～10頁、嵐義人（1944～）編）、献呈辞（11～12頁）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/11932375/1/1>〉（令和5（2023）年10月21日一部補正）

・『神道史論叢 瀧川政次郎先生米寿記念論文集』（国書刊行会、昭和59（1984）年5月26日刊）肖像、「刊行の辞」（1頁）、「瀧川政次郎博士略年譜」（3～10頁。上記『律令制の諸問題』所載略年譜とは若干の異同あり。）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/12264236/1/1>〉（令和5（2023）年10月24日追加）

昭和62（1987）年

・（未見）「瀧川政次郎博士著書目録 校訂・監修 附 頌寿記念論文集」

執筆者名：嵐義人（1944～） 誌著名：熊野誌 通巻：33 掲載ページ：18-19

掲載ページ数：2 発表年月日：1987-12-25（『熊野誌』は熊野地方史研究会・新宮市立図書館が発行する郷土雑誌〈<https://www.city.shingu.lg.jp/info/996>〉）

〈<https://ronbun.nijl.ac.jp/kokubun/01254362>〉（「国文学・アーカイブズ学論文データベース」）（令和6（2024）年1月14日追加）

昭和63（1988）年

・瀧川政次郎『律令の研究』（復刻版）（名著普及会、昭和63（1988）年11月30日刊（原本：刀江書院、昭和6（1931）年9月15日刊〈<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/1269856/1/1>〉））中に「瀧川政次郎博士略年譜」（復刻版資料：151～156頁）及び嵐義人（1944～）作成「瀧川政次郎論著目録（稿）」（復刻版資料：81～150頁。本「論著目録（稿）」の意義につき瀧川政次郎「名著普及会再刊本序」3頁参照。）あり。（令和5（2023）年10月24日一部補正）

平成 4 (1992) 年

(瀧川政次郎博士 (1997～1992) 平成4 (1992) 年1月29日逝去)

- ・「瀧川政次郎博士略年譜」、「瀧川政次郎博士著書目録」『古代文化』第 44 巻第 11 号
(◇瀧川政次郎博士を偲んで、平成 4 (1992) 年 11 月 20 日刊)

『古代文化』：〈<https://kodaigaku.org/intro/>〉

〈<https://kodaigaku.org/wp-content/uploads/2022/07/vol41-50somokuji.pdf>〉

(参考) 同号所収水戸部正男 (1912～1996) 「瀧川先生の旧著再刊序文」41～42 頁参照。

平成 30 (2018) 年

- ・嵐義人 (1944～) 『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』 (アーツアンドクラフツ、平成 30 (2018) 年 3 月 1 日刊) (「第四部 塙保己一・瀧川先生」中に「瀧川博士年譜」、「主要著書」あり。)

*回顧録、序文その他

(令和6(2024)年1月7日新設追加、同年3月5日表題変更)

*回顧録、序文

昭和33(1958)年

滝川政次郎「私の履歴書⑤ 法制史の研究に献身」『古代文化』第2巻第4号(1958年第4号、昭和33(1958)年4月20日刊)64～65頁(令和6(2024)年3月4日西英昭先生の御教示に拠る。「瀧川先生がご自身で書かれた自伝的文章としては(たった2頁ではありますが)貴重かと思えます。」との由。西先生に厚く御礼申し上げます。)(令和6(2024)年3月5日追加)

昭和39(1964)年

・瀧川政次郎「平沼淑郎先生をなつかしむ」『平沼淑郎博士生誕百年記念誌』(早稲田大学第一第二商学部、昭和39(1964)年11月14日刊。平沼淑郎:1864～1938)37～41頁(令和6(2024)年1月14日追加)

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/3036407/1/1>〉(27～29齣)

昭和42(1967)年

・瀧川政次郎「総序及び第一冊解題」3～6頁『法制史論叢』第一冊(律令格式の研究)(角川書店、昭和42(1967)年5月26日刊。以下四冊は古稀記念論文集との由。巻頭に「本叢書を芝川栄助大人の奥津城に奉る」、「芝川栄助大人略歴」あり。

芝川栄助:1865～1952、〈<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who8-10689>〉

⇒名著普及会復刻版:第一冊(名著普及会、昭和61(1986)年9月20日刊)巻頭に「再版序」、巻末に名著普及会代表取締役小関貴久「『法制史論叢』の刊行にあたって」あり。

(令和6(2024)年1月30日追加)

・瀧川政次郎「序及び解題」1～6頁『法制史論叢』第二冊(京制並に都城制の研究)(角川書店、昭和42(1967)年6月30日刊。名著普及会復刻版:昭和61(1986)年9月20日刊)

(令和6(2024)年1月30日追加)

・瀧川政次郎「序並びに解説」1～5頁『法制史論叢』第三冊(律令賤民制の研究)(角川書店、昭和42(1967)年8月20日刊。名著普及会復刻版:昭和61(1986)年9月20日刊)(令和6(2024)年1月30日追加)

・島田正郎(1915～2009)「跋」『法制史論叢』第四冊(律令諸制及び令外官の研究)(角川書店、昭和42(1967)年10月25日刊。名著普及会復刻版:昭和61(1986)年9月20日刊)469～472頁(令和6(2024)年1月30日追加)

昭和44(1969)年

・瀧川政次郎「序と解題にかえて一追憶と感想」満洲帝国政府編『満洲建国十年史』(明治百年史叢書第91巻、原書房、昭和44(1969)年3月20日刊。瀧川政次郎解題、衛藤藩吉(1923～2007)校註)1～40頁(凡例:衛藤藩吉執筆)

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/12183241>〉

昭和45(1970)年

・「瀧川政次郎教授退職記念講演録(上)一東京裁判を中心として一」『國學院法學』第8巻第2号(昭和45(1970)年9月10日刊)19～50頁(昭和42(1967)年11月11日開催)

(令和6 (2024) 年1月14日追加)

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689493/1/11> (37～83齣)

昭和46 (1971) 年

・「瀧川政次郎教授退職記念講演録 (下) —東京裁判を中心として—」『國學院法學』第8巻第4号 (昭和46 (1971) 年3月10日刊) 81～83頁 (小林宏「随談 閉会の辞にかえて」(81～83頁) あり。) (令和6 (2024) 年1月14日追加)

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689495/1/20> (20～43齣)

昭和47 (1972) 年

・瀧川政次郎「縁と由来—最終講義—」『國學院法學』第10第1号 (昭和47 (1972) 年6月10日刊) 1～15頁 (令和6 (2024) 年1月14日追加)

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689500> (2～9齣)

昭和56 (1981) 年

・「東京在住桃山中学校 (旧制) 卒業生座談会 (第一部)」『桃山学院年史紀要』創刊号 (桃山学院、昭和56年3月刊) 1～23頁 (瀧川博士発言箇所: 4～6、12～13、17～23頁) (令和6 (2024) 年1月14日追加)

https://www.andrew.ac.jp/nenshi/bulletin_content1-20.html

<https://stars.repo.nii.ac.jp/records/662>

(参考) 昭和57 (1982) 年～昭和63 (1988) 年復刻本一覧

・水戸部正男 (1912～1996) 「瀧川先生の旧著再刊序文」『古代文化』第44巻第11号 (◇瀧川政次郎博士を偲んで) (平成4 (1992) 年11月20日刊)

<https://kodaigaku.org/kodaibunka/>

(晩年時覆刻再刊 6冊)

- ・『律令の研究』 [名著普及会、昭和63 (1988) 年11月30日刊]
- ・『律令時代の農民生活』 [名著普及会、昭和63 (1988) 年1月刊]
- ・『中国法制史研究』 [巖南堂書店、昭和57 (1982) 年4月20日刊]
- ・『令集解釈義』 [国書刊行会、昭和57 (1982) 年4月30日刊]
- ・『日本法制史研究』 [名著普及会、昭和57 (1982) 年4月20日刊]
- ・『日本法制史』 (文庫本) [講談社学術文庫、講談社、昭和60 (1985) 年6月10日、8月10日刊]

(同増補再刊 2冊)

- ・『増補新版日本社会経済史論考』 [名著普及会、昭和58 (1983) 年9月20日刊]
- ・『増補日本奴隷経済史』 [名著普及会、昭和60 (1985) 年12月20日刊]

昭和57 (1982) 年

・瀧川政次郎「再刊序並びに解題」『日本法制史研究』 (名著普及会、昭和57 (1982) 年4月20日刊。(初版) 有斐閣、昭和7 (1932) 年4月20日刊。) 1～51頁

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11932049/1/3>

・瀧川政次郎「再刊序」『中国法制史研究』 (巖南堂書店、昭和57 (1982) 年4月20日刊。(初版) 『支那法制史研究』 有斐閣、昭和15 (1940) 年4月10日刊。) 1～51頁

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11931225/1/1>

・瀧川政次郎「序並びに解説」三浦周行・瀧川政次郎共編『令集解釈義』 (国書刊行会、昭和57 (1982) 年4月30日刊。(初版) 『定本 令集解釈義』 内外書籍株式会社、昭和6 (1931)

年4月5日刊。) 1～45頁

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/11933336/1/1>〉

昭和 58 (1983) 年

・瀧川政次郎「新序」『増補新版 日本社会経済史論考』（名著普及会、昭和 58 (1983) 年 9 月 20 日刊。(初版) 日光書院、昭和 14 (1939) 年 11 月 28 日刊、「再版序 (昭和 (1947) 年 22 年 7 月)」) 1～6 頁 (巻末に名著普及会代表取締役小関貴久「『増補新版 日本社会経済史論考』の刊行にあたって」 (昭和 58 (1983) 年 8 月 1 日) あり。)

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/12210240/1/1>〉

昭和 60 (1985) 年

・瀧川政次郎「学術文庫『日本法制史』序」『日本法制史 (上)』（講談社 (学術文庫)、昭和 60 (1985) 年 6 月 10 日刊。(初版) 有斐閣、昭和 3 (1928) 年 11 月 20 日刊) 3～10 頁 (『日本法制史 (下)』（講談社 (学術文庫)、昭和 60 (1985) 年 8 月 10 日刊。(初版) 有斐閣、昭和 3 (1928) 年 11 月 20 日刊) 巻末に嵐義人 (1944～) 「日本法制史の興隆と瀧川博士」 281～296 頁あり。後、嵐義人『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』 267～278 頁に再録。)

・(未見) 瀧川政次郎『日本奴隷経済史 増補』（名著普及会、昭和 60 (1985) 年 12 月 20 日刊。(初版) 刀江書院、昭和 5 (1930) 年 11 月 20 日刊))

昭和63 (1988) 年

・(未見) 瀧川政次郎『律令時代の農民生活』（名著普及会、昭和63 (1988) 年1月刊。(初版) 『法制史上より観たる日本農民の生活 律令時代 上、下』（同人社書店、(上) 大正15 (1926) 年4月19日刊、(下) 昭和2 (1927) 年10月25日刊。後、昭和19 (1944) 年6月30日に刀江書院から『律令時代の農民生活』として改題合本刊。)

・瀧川政次郎「名著普及会再刊本序」『律令の研究』（復刻版) (名著普及会、昭和63 (1988) 年11月30日刊。(初版) 刀江書院、昭和6 (1931) 年9月15日刊)

〈<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/1269856/1/1>〉

平成3 (1991) 年

・佐藤誠實 (1839～1908) 著 瀧川政次郎編『佐藤誠實博士律令格式論集』（汲古書院、平成3 (1991) 年9月刊) (瀧川政次郎「序」、「佐藤博士の律令学」、「解題」) (令和 6 (2024) 年3月5日追加)

・その他

・今村与志雄 (1925～2007) 編『橋川時雄の詩文と追憶』（汲古書院、平成18 (2006) 年6月刊) (ただし、瀧川政次郎博士言及記事は存在しない模様) (令和6 (2024) 年3月5日追加)

[〈https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000002-I000008232968〉](https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000002-I000008232968)

(参考) 平成 18 (2006) 年 9 月 5 日刊

村田雄二郎 (1957～) 「新刊紹介・今村与志雄編『橋川時雄の詩文と追憶』」

[〈https://jdzg.exblog.jp/4496190/〉](https://jdzg.exblog.jp/4496190/)

・『CD 版 上山安敏先生・柴田光蔵先生・西村稔先生・宮崎道三郎博士・池辺義象氏・小林宏先生・千賀鶴太郎博士・戸水寛人博士略年譜・著作目録 附録: 「日本ローマ法・法制史学者等略年譜・著作目録・追悼辞」掲載資料抄 (追補) 中田薫博士・瀧川政次郎博士・三浦周行博士・牧健二博士各関係資料抄 一ローマ法・法制史学者著作目録選 (第十六輯) 一』 (CD 版、令和 6 (2024) 年 1 月 1 日刊) (「瀧川政次郎博士関係資料抄 (八訂稿) (令和 6 (2024) 年 1 月 14 日 (日) 現在)」を収載。) (令和 6 (2024) 年 3 月 5 日追加)

2 小林宏先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄

（「小林宏先生略年譜・著作目録（四訂稿）」（令和4（2022）年4月1日作成）より抽出、補正。小林宏：1931～）

（追記）現在は「小林宏先生略年譜・著作目録（五訂稿）」（令和6（2024）年1月1日作成）『CD版 上山安敏先生・柴田光蔵先生・西村稔先生・宮崎道三郎博士・池辺義象氏・小林宏先生・千賀鶴太郎博士・戸水寛人博士略年譜・著作目録 附録：「日本ローマ法・法制史学者等略年譜・著作目録・追悼辞」掲載資料抄（追補）中田薫博士・瀧川政次郎博士・三浦周行博士・牧健二博士各関係資料抄 一ローマ法・法制史学者著作目録選（第十六輯）一』（CD版、令和6（2024）年1月1日刊）所載あり。（令和6（2024）年3月5日追加）

昭和40（1965）年

（論説等6）（瀧川政次郎・利光三津夫・小林宏三氏で分担執筆）（小林先生御担当分）「学界動向・律令研究史（明治以後、終戦まで）」『法制史研究』15（1965）（昭和40（1965）年10月10日刊）

（再録）瀧川政次郎『律令の研究』（（再刊）刀江書院、昭和41（1966）年10月20日刊。（復刻版）名著普及会、昭和63（1988）年11月30日刊。「附録 律令研究史」冒頭：瀧川政次郎、1 江戸時代 利光三津夫、2 明治以後、終戦まで 小林宏、3 終戦以後 瀧川政次郎）〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/3026910/1/1>〉

昭和46（1971）年

（その他（1）2-2）「随談 閉会の辞にかえて」（「瀧川政次郎教授退職記念講演録（下）—東京裁判を中心として—」）『國學院法學』第8巻第4号（昭和46（1971）年3月10日刊）81～83頁（令和5（2023）年11月11日追加）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689495/1/1>〉（42～43 齣）

昭和59（1984）年

（編書7）瀧川博士米寿記念会編（島田正郎・鍋田一・利光三津夫と共編）『律令制の諸問題 瀧川政次郎博士米寿記念』（汲古書院、昭和59（1984）年5月26日刊）（11～12頁に「献呈辞」あり。）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/11932375/1/1>〉（令和5（2023）年10月21日一部補正）

*3-第5（論説等37）「明治皇室典範における皇位継承法の成立—西欧法受容における律令法の意義に寄せて—」『瀧川政次郎博士米寿記念 律令制の諸問題』（汲古書院、昭和59（1984）年5月26日刊）【書評】島善高『法制史研究』35（1985）（昭和61年3月30日刊）288頁

平成4（1992）年

（瀧川政次郎博士（1997～1992） 平成4（1992）年1月29日逝去）

（追悼文1）「瀧川政次郎博士を悼む」『國學院大學学報』第381号（平成4年4月刊）

(追悼文 2) 「瀧川政次郎氏の訃」 『日本歴史』 第 528 号 (平成 4 年 5 月刊)

(追悼文 3) 「瀧川博士の学問」 『古代文化』 第 44 卷第 11 号 (◇瀧川政次郎博士を偲んで。平成 4 年 11 月 20 日刊) 28～29 頁

平成 5 (1993) 年

(追悼文 4) 「瀧川政次郎博士を悼む」 『法制史研究』 42 (1992) (平成 5 年 3 月 30 日刊) 403～406 頁

平成 11 (1999) 年

(その他 (1) 30) 「特集号 (古代文化第 51 卷第 2 号 特集 東アジアの古代法制 (瀧川政次郎先生七回忌記念)) の編集に際して」 『古代文化』 第 51 卷第 2 号 (平成 11 年 2 月 20 日刊)

平成 12 (2000) 年

(追悼文 7) 「「瀧川政次郎先生を偲ぶ会」 昨今」 『法史学研究会会報』 第 5 号 (平成 12 年 7 月 31 日刊) (小林先生は、高塩博教授、島善高教授とともに、平成 15 年まで毎年御命日近くに「瀧川政次郎先生を偲ぶ会」を主宰された。)

平成 14 (2002) 年

(序文・解題・解説 7) 「瀧川政次郎「中国の礼制と日本の儀式 (1)」 解題」 『儀礼文化』 第 31 号 (平成 14 年 10 月刊)、同「中国の礼制と日本の儀式」 (1)～(4) (『儀礼文化』 第 31～34 号 (平成 14 年 10 月、同 15 年 3、9 月、同 16 年 4 月刊)) に、各「要旨」を執筆。

平成 22 (2010) 年

(追悼文 8) 「若き日の利光三津夫博士」 『法史学研究会会報』 第 14 号 (平成 22 年 3 月 26 日刊) (平成 21 (2009) 年 9 月 13 日利光三津夫博士 (1927～2009) 逝去、『法史学研究会会報』 第 15 号 214 頁参照。)

令和元 (2019) 年

(講演 10) (「律令研究会関係 4」と重複) 「瀧川学の魅力」 (令和元 (2019) 年 11 月 9 日 (土) 午後、於國學院大學第 457 回律令研究会) ⇒ 『法史学研究会会報』 第 23 号 (小林宏先生米寿記念号、令和 2 年 3 月 30 日刊) 2～5 頁に加筆の上収録。⇒ (著書 5) 『日本法史における立法と法解釈の史的研究』 (別巻 補遺) (汲古書院、令和 3 年 10 月 14 日刊) に「附録 第二」として再録 (241～246 頁)。

令和 3 (2021) 年

(追悼文 13) 「島善高兄を悼む」 『法史学研究会会報』 第 24 号 (島善高先生追悼号、令和 3 年 3 月 30 日刊。令和 2 (2020) 年 9 月 4 日島善高博士 (1952～2020) 逝去) 195～19

6 頁

(著書 5)『日本法史における立法と法解釈の史的研究』(別巻 補遺)(汲古書院、令和 3 年 10 月 14 日刊)〔「附録 第二 瀧川学の魅力」(241～246 頁)、「あとがき」(249～251 頁)。「(中略)ここに、その学恩に深謝の微意を表し、拙著を御霊前に捧げたいと思う。」(251 頁)とある。〕。

令和 5 (2023) 年

(追悼文 14)「瀧川政次郎博士の喜壽の「謝辞」と米壽の「挨拶」『大警視だより』続刊第 16 号(通巻第 45 号、大警視川路利良研鑽会、令和 5 (2023) 年 1 月 1 日刊) 11～15 頁(警察政策学会資料第 130 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第四輯)』(令和 5 (2023) 年 8 月刊) 24～29 頁に再録。)(再録部分: 令和 5 (2023) 年 10 月 24 日追加)

<http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC130%E5%8F%B7.pdf>

(参考) 小林宏先生御執筆「律令研究会」関係著作抄

(「小林宏先生略年譜・著作目録(四訂稿)」(令和 4 (2022) 年 4 月 1 日作成)より抽出、補正)

昭和 61 (1986) 年

(律令研究会関係 1) ※⑥「律令研究会第 150 回例会を迎えて」『國學院大學日本文化研究所報』第 133 号(第 23 巻第 4 号、昭和 61 年 11 月刊) (※⑥『律令法とその周辺』に〔補記〕あり。)

(参考) 高塩博(1948～)「律令研究会について」『國學院大學日本文化研究所報』第 204 号(第 35 巻第 3 号、平成 10 年 3 月刊)(後、※⑥『律令法とその周辺』に再録。)

平成 4 (1992) 年

(瀧川政次郎博士(1997～1992) 平成 4 (1992) 年 1 月 29 日逝去)

(律令研究会関係 2) ※⑥「律令研究会第 200 回記念講演会挨拶」『國學院大學日本文化研究所報』第 169 号(第 29 巻第 4 号、平成 4 年 11 月刊)

(参考) 同号に、島善高「諧謔家としての瀧川政次郎先生」、下村效「瀧川政次郎先生と律令研究会」の各報告要旨あり。(後、※⑥『律令法とその周辺』に再録。)

平成 8 (1996) 年

(律令研究会関係 3) 「律令研究会について」『法史学研究会会報』創刊号(法史学研究会編刊)創刊号(法史学研究会創立 10 周年記念特集、平成 8 年 3 月 31 日刊) 13～15 頁
平成 25 (2013) 年

(参考 / 律令研究会報告関係) 「柏崎騒動雑感—「生田の落とし文」によせて—」(第

400 回律令研究会記念報告、平成 25 年 9 月 28 日（土）午後 2 時～、於若木タワー11 階高塩先生研究室。高橋均先生「日本で作られた「異体字」とその「異体字」が示すこと―旧抄本「論語義疏」の場合―」とともに。）

令和元（2019）年

（律令研究会関係 4）（（講演 10）と重複）「瀧川学の魅力」（令和元（2019）年 11 月 9 日（土）午後、於國學院大學第 457 回律令研究会）⇒『法史学研究会会報』第 23 号（小林宏先生米寿記念号、令和 2 年 3 月 30 日刊）2～5 頁に加筆の上収録。⇒（著書 5）『日本法史における立法と法解釈の史的研究』（別巻 補遺）（汲古書院、令和 3 年 10 月 14 日刊）に「附録 第二」として再録（241～246 頁）。

3 瀧川政次郎博士関係文献抄

（「法制史学会HP全データの検索」等に拠る。ただし、一部を除き主として昭和57（1982）年以降のもので、かつ前掲小林宏先生御著作を除く。）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%80%A7%E5%B7%9D%E6%94%BF%E6%AC%A1%E9%83%8E>〉

昭和45（1970）年

・「瀧川政次郎教授退職記念講演録 東京裁判を中心として-上-」『國學院法學』第8巻第2号（昭和45年9月刊）19～50頁（令和5（2023）年11月11日追加）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689493/1/1>〉

昭和46（1971）年

・「瀧川政次郎教授退職記念講演録 東京裁判を中心として-下-」『國學院法學』第8巻第4号（昭和46年3月刊）37～83頁（令和5（2023）年11月11日追加）

小林宏「随談 閉会の辞にかえて」81～83頁（42～43齣）

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/2689493/1/1>〉

昭和57（1982）年

・「（専門家訪問） 元満洲国立中央図書館籌備処長 瀧川政次郎氏」『書誌索引展望』第6巻第1号（昭和57（1982）年2月刊）30～35頁（談話の聞き手：嵐義人氏）（未見。令和5（2023）年10月24日追加）

〈<https://ndlonline.ndl.go.jp/#/detail/R300000002-I2381860-00>〉

昭和58（1983）年

・嵐義人（1944～）「恩師歴訪②《明治生まれの史家点描②》 瀧川政次郎博士—法制史学の泰斗—」『歴史研究』第264号（新人物往来社、昭和58（1983）年2月号）12～17頁（令和5（2023）年10月24日追加）

昭和60（1985）年

・瀧川政次郎『日本法制史』（上・下）〔講談社学術文庫〕（講談社、昭和60（1985）年6月10日、8月10日刊）（上巻冒頭に瀧川博士「学術文庫『日本法制史』序」・「（旧）序」、下巻末に嵐義人（1944～）「日本法制史の興隆と瀧川博士」（後掲嵐義人『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』（アーツアンドクラフツ、平成30（2018）年3月1日刊）に再録。）あり。嵐先生の瀧川博士関係著作については荊木美行（1959～）後掲「瀧川政次郎博士と中国法制史」『皇學館大学紀要』第52輯（平成26（2014）年3月10日刊）補注1（20頁）参照。）

〈<https://kogakkan.repo.nii.ac.jp/records/45>〉

昭和61（1986）年

・瀧川政次郎『日本法律史話』〔講談社学術文庫〕（講談社、昭和61（1986）年3月10日

刊) (末尾に嵐義人「瀧川博士の考証学」あり。)

・齋藤博(1934~2000)『歴史の精神』(学文社、昭和61(1986)年6月30日刊)(第2章「瀧川史学の研究序説」38~134頁(ただし、目次には「第2章 瀧川史学の研究序説—大正デモクラシーの下流域に近代史学の形成と苦悩を観る—」とある。初出は『独協大学経済学研究』第45号(昭和61(1986)年6月10日刊)1~86頁掲載であろうが、何故か本『歴史の精神』とほぼ同時期刊行のようである。なお、齋藤教授の瀧川博士との関係については、齋藤博「思慕・瀧川先生」『古代文化』第44巻第11号(◇瀧川政次郎博士を偲んで、平成4(1992)年11月20日刊)29~30頁参照。)(令和5(2023)年10月24日追加、同年11月11日一部補正)

昭和63(1988)年

・瀧川政次郎『律令の研究』(復刻版)(名著普及会、昭和63(1988)年11月30日刊(原本:刀江書院、昭和6(1931)年9月15日刊(<https://dl.ndl.go.jp/pid/3026910/1/1>))) (瀧川政次郎「名著普及会再刊本序」、「(旧)序」、瀧川政次郎・利光三津夫・小林宏「附録 律令研究史 『法制史研究』第15冊(昭和40(1965)年10月10日刊)所載」、嵐義人作成「瀧川政次郎論著目録(稿)」、「瀧川政次郎博士略年譜」あり。本「論著目録(稿)」の意義につき瀧川政次郎「名著普及会再刊本序」3頁参照。)あり。(令和5(2023)年10月24日一部補正))

平成3(1991)年

・瀧川政次郎編『佐藤誠実博士律令格式論集』(汲古書院、平成3(1991)年9月刊)(瀧川博士「序」、「佐藤博士の律令学」あり。佐藤誠実:1839~1908)
(<http://www.kyuko.asia/book/b10872.html>)
・河野昭昌「元満洲国官吏・建国大学教授、瀧川政次郎〈ママ〉氏に聞く」『漁夫之理』第4号(東京、平成3(1991)年刊)(未見)
(https://researchmap.jp/blogs/blog_entries/view/616012/90247e9c7936aebac0f65bd3c25006e0?frame_id=1176824) (同ブログによれば、島善高後掲「中国における瀧川政次郎先生」『古代文化』第51巻第2号(通巻第481号、特輯:東アジアの古代法制(瀧川政次郎先生七回忌記念)、平成11(1999)年2月刊)53~61頁中で引用との由。)(令和6(2024)年1月7日追加)

平成4(1992)年

(瀧川政次郎博士(1997~1992) 平成4(1992)年1月29日逝去)
・中西亨(1925~2017)「瀧川先生を悼む」『史迹』第62巻第3号(史迹美術同攷会、通巻第623号、史迹美術同攷会、平成4(1992)年3月刊)140~141頁
(<https://www.shibikai1930.com/>) (令和4(2022)年9月28日追加)
・嵐義人(1944~)「瀧川政次郎博士の歩まれし道」『歴史研究』第372号(新人物往来社、平成4(1992)年5月号)74~79頁(74頁に「瀧川博士年譜」あり。)⇒瀧川政次郎『裁判史話』(復刻版)別冊附録(燃焼社、平成9(1997)年12月25日復刻版初版刊)に改

稿の上再録か。⇒後掲『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』279～292 頁に再々録。(令和 5(2023)年 10 月 24 日追加)

・『瀧川政次郎先生を偲ぶ』(『回天』追悼特集号、和歌山市・回天発行所、平成 4 (1992)年 6 月 1 日刊)(令和 5 (2023)年 7 月 7 日西英昭先生の御教示に拠る。)(令和 5 (2023)年 7 月 10 日追加)

(追悼文としては下記を収載)

- ・ 1 瀧川先生と昭和史学の進展 (嵐義人) 13～18 頁
- ・ 2 理と義と情の碩学瀧川博士を偲ぶ (海部光彦) 19～24 頁
- ・ 3 瀧川先生をお偲び申し上げて (志摩昭之輔) 25～30 頁
- ・ 4 式内社調査の思い出 (山本宏) 31～36 頁
- ・ 5 先生のご教示を大切に (紀俊武) 37～38 頁
- ・ 6 瀧川政次郎博士を偲ぶ (丹生廣良) 39～40 頁 (目次表題: 瀧川博士の御逝去を悼む)
- ・ 7 瀧川政次郎先生の思い出 (野長瀬盛孝) 41～42 頁
- ・ 8 瀧川政次郎先生を偲ぶ (小森義峯) 43～44 頁
- ・ 9 車海老の思い出 (兒玉和歌代) 45～48 頁
- ・ 10 瀧川政次郎先生の思い出 (井岡峻一) 49～54 頁
- ・ 11 瀧川先生を偲んで (玉村日祥) 56～57 頁
- ・ 12 瀧川先生、有難うございました。(渡瀬匡清) 58～60 頁
- ・ 13 瀧川先生と和歌山 (名草杜夫) 61～68 頁
- ・ 真鍋藤治 (1901～?, 元満鉄調査部参事 法制係主任) 「瀧川政次郎博士の中国在住十三年間の業績」『歴史研究』第 375 号 (新人物往来社、平成 4 (1992) 年 8 月号) 65 頁 (前掲嵐義人「瀧川政次郎博士の歩まれし道」『歴史研究』第 372 号 (新人物往来社、平成 4 (1992) 年 5 月号) 中の中国関係部分を補足せし由。)(令和 5 (2023) 年 10 月 24 日追加)

〈<https://lab.ndl.go.jp/dl/book/1031743?keyword=%E7%9C%9F%E9%8D%8B%E8%97%A4%E6%B2%BB&page=118>〉 (真鍋藤治、118 齣)

・「律令研究会第二百回記念講演会 (瀧川政次郎先生を偲んで)」『國學院大學日本文化研究所報』第 169 号 (平成 4 (1992) 年 11 月刊) (『律令法とその周辺』(汲古書院、平成 16 (2004) 年 3 月刊) 21～33 頁に再録。)

挨拶 (小林宏)

諧謔家としての瀧川政次郎先生 (島善高)

瀧川政次郎先生と律令研究会 (下村效: いさお、1926～1996)

・『古代文化』第 44 卷第 11 号 (◇瀧川政次郎博士を偲んで) (平成 4 (1992) 年 11 月 20 日刊) (〈<https://kodaigaku.org/kodaibunka/>〉)(令和 4 (2022) 年 9 月 14 日一部補正)

- ・ 角田文衛 (1913～2008) 「瀧川政次郎先生を憶う」 1 頁
- ・ 「瀧川政次郎博士略年譜」 2 頁
- ・ 「瀧川政次郎博士著書目録」 3～4 頁
- ・ 荊木美行 (1959～) 「大宝官位令をめぐる二、三の問題」 5～23 頁

◇瀧川政次郎博士を偲んで 追悼の辞

- ・ 海部光彦 (あまべ、～2021.11.8、91 歳) 「瀧川政次郎先生の思い出」 25 頁

- ・池田温（1931～2023.12.11、92歳）「瀧川博士と中国法制史」26頁
 - ・大鳥居総夫（～）「瀧川先生と大阪天満宮の思い出」26～27頁
 - ・岡本経一（1909～2010）「瀧川本の端っこ」27頁
 - ・倉林正次（1925～）「儀礼文化学会との関わり」27～28頁
 - ・黒板伸夫（1923～2015）「ある日の思い出から」28頁
 - ・小林宏（1931～）「瀧川博士の学問」28～29頁
 - ・齋藤博（1934～2000）「思慕・瀧川先生」29～30頁
 - ・島善高（1952～2020）「晩年の瀧川政次郎先生」30～31頁
 - ・島田正郎（1915～2009）「瀧川先生を偲ぶ」31頁
 - ・正田健一郎（1925～）「瀧川政次郎先生の追憶」32頁
 - ・田中卓（1923～2018）「公私にわたる恩人、瀧川政次郎博士」32～33頁
 - ・田中方男（～）「晩年の瀧川政次郎先生」33頁
 - ・団藤重光（1913～2012）「瀧川政次郎博士の思い出」33～34頁
 - ・角田文衛（1913～2008）「瀧川政次郎先生」34～35頁
 - ・寺井種伯（～）「瀧川政次郎先生を偲んで」35～36頁
 - ・時野谷滋（1924～2006）『「律令時代の農民生活」と私』36頁
 - ・所功（1941～）「終生の恪勤」37頁
 - ・中西亨（1925～2017）「瀧川先生を偲んで」37～38頁
 - ・鍋田一（1924～2013）「瀧川政次郎先生と地方史研究所」38頁
 - ・林健太郎（1913～2004）「瀧川先生を憶う」39頁
 - ・樋口清之（1909～1997）「阿波踊り」39～40頁
 - ・福井保（1911～2016）「旧満洲の瀧川先生」40頁
 - ・藤井直正（～）「瀧川政次郎先生と『枚岡市史』」40～41頁
 - ・本田安次（～）「法制史から遊行女婦まで」41頁
 - ・水戸部正男（1912～1996）「瀧川先生の旧著再刊序文」41～42頁
 - ・村尾次郎（1914～2006）「瀧川博士を偲びて」42頁
 - ・目崎徳衛（～）「内教坊のことなど」42～43頁
 - ・吉川圭三（～）「黒板先生・瀧川先生別離の場面」43頁
 - ・横田健一（1916～2012）「瀧川政次郎先生の思い出」43～44頁
 - ・利光三津夫（1927～2009）「瀧川先生をしのぶ」44～45頁
 - ・李家正文（1909～1998）「瀧川政次郎先生」45頁
- （45頁末尾に古代文化刊行委員会編集主任江谷寛氏の後記あり。貴重な図21枚挿入）

平成5（1993）年

- ・荊木美行（1959～）「瀧川政次郎編『佐藤誠実博士律令格式論集』」『古代文化』第45巻第1号（平成5年1月刊）

平成8（1996）年

- ・島善高（1952～2020）「明治大学法史学研究室の思い出」『法史学研究会会報』創刊号

(平成8(1996)年3月刊) 26～27頁 (⇒同号3頁に続く。)

・島善高「国立新民学院初探」『早稲田人文自然科学研究』第52号(平成9(1997)年刊) 1～58頁 <<https://core.ac.uk/download/pdf/144445564.pdf>>

平成9(1997)年

・瀧川政次郎『裁判史話』(復刻版)(大阪)燃焼社、平成9(1997)年12月25日復刻版初版刊。(原本)乾元社、昭和26(1951)年9月15日刊(別冊附録として、嵐義人「瀧川政次郎博士の歩まれし道」(前掲『歴史研究』第372号(新人物往来社、平成4(1992)年5月号)所載稿を改稿再録)、荊木美行「瀧川政次郎博士の考証随筆」あり。)(令和6(2024)年1月7日一部修正)

平成10(1998)年

・島善高(1952～2020)「瀧川政次郎博士の芝川栄助氏宛書簡」『法史学研究会会報』第3号(平成10(1998)年3月刊) 6～9頁(⇒同号3頁に続く。)

(芝川栄助: 1865～1952、<<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who4-12541>>、<<https://www.aero.or.jp/culture/aviationand-culture/20220803-3362/>>)

・島善高(1952～2020)「北京に於ける瀧川政次郎博士」『國學院大學日本文化研究所報』第202号(平成10(1998)年5月刊)(『律令法とその周辺』(汲古書院、平成16(2004)年3月刊) 34～38頁に再録。)

・高塩博(1948～)「律令研究会について」『國學院大學日本文化研究所報』第204号(平成10(1998)年9月刊)(『律令法とその周辺』(汲古書院、平成16(2004)年3月刊) 16～20頁に再録。)

平成11(1999)年

・島善高(1952～2020)「中国における瀧川政次郎先生」『古代文化』第51巻第2号(通巻第481号、特輯:東アジアの古代法制(瀧川政次郎先生七回忌記念)、平成11(1999)年2月刊) 53～61頁

平成16(2004)年

・國學院大學日本文化研究所編『律令法とその周辺』(汲古書院、平成16(2004)年3月刊。I部に下記律令研究会、瀧川政次郎博士関連稿を収録。)

<https://www2.kokugakuin.ac.jp/oardijcc/publications/Ritsuryo_Kenkyu>

律令研究会の発足(瀧川政次郎)

律令研究会第百五十回例会を迎えて(小林宏)

律令研究会について(高塩博)

律令研究会第二百回記念講演会

挨拶(小林宏)

諧謔家としての瀧川政次郎先生(島善高)

瀧川政次郎先生と律令研究会(下村效: いさお、1926～1996)

北京に於ける瀧川政次郎博士（島善高）

『譯註日本律令』の終結に際して（小林宏）

【書評】『古代文化』第57巻第3号（平成17（2005）年3月刊）47頁、梅田康夫『日本歴史』第683号（平成17（2005）年4月刊）104～106頁

平成18（2006）年

・島善高（1952～2020）「瀧川政次郎小伝—東京裁判の頃まで—」瀧川政次郎『東京裁判をさばく』（慧文社、平成18（2006）年11月22日刊）

平成19（2007）年

・島善高（1952～2020）「瀧川政次郎氏購入の司法省用漢籍」『法史学研究会会報』第11号（平成19（2007）年2月25日刊）89～103頁（ただし表紙目次には「瀧川政次郎氏購入の司法省所蔵漢籍」とある。）

平成21（2009）年

・嵐義人（1944～）「律令学者瀧川政次郎と式内社研究—新しい学問のために時代と戦った先達」『式内社のしおり』第78・79号（平成21（2009）年刊）

平成24（2012）年

・宮部香織「國學院における三浦周行の法制史講義」『國學院大學校史・学術資産研究』第4号（平成24（2012）年3月9日刊）121～148頁（令和4（2022）年9月28日追加）

平成26（2014）年

・荊木美行（1959～）「瀧川政次郎博士と中国法制史」『皇學館大学紀要』第52輯（平成26（2014）年3月10日刊）1～35頁（皇學館大学リポジトリにも掲載。瀧川政次郎博士関係引用文献多し。末尾に有名な瀧川政次郎「大化改新管見」を〔附録〕として再録す（23～35頁））

〈<https://kogakkan.repo.nii.ac.jp/records/45>〉

⇒荊木美行『金石文と古代史料の研究』（燃焼社、平成26（2014）年3月1日刊）に収録。（参考）（令和4（2022）年9月14日追加）

〈http://uvdbwsrv.kogakkan-u.ac.jp/html/100000077_knkyu_prsn_3_ja.html〉

④ 荊木美行. 瀧川政次郎博士与中国法制史. 主催・中国政法大学法律古籍整理研究所 2014.11、④ 荊木美行. 瀧川政次郎博士与中国法制史. 中国法律史学 2013.10

・中山時子（1922～2016）「東京大学での日々、北園高校と中国」『日中文学文化研究学会通信』平成26（2014）年7月号（大泉公館所在日中文学文化研究学会、平成26（2014）年7月8日刊）（瀧川政次郎博士御息女小野沢格子様の件（下村效前掲「瀧川政次郎先生と律令研究会」参照。）を記載。後に『日中文学文化研究』第6・7号（平成31（2019）年4月30日発行。【中山時子先生を偲んで】弔辞（木村春子）、中山時子先生追悼文、中

山時子回想録：連載「日中文学文化研究学会通信」に再録。うち「東京大学での日々、北園高校と中国」：78～81頁（令和5（2023）年10月24日一部補正）

平成27（2015）年

・（特集）九州大学法学部百年史編集委員会「九州大学法学部・法科大学院の歩み—1924（法文学部創設）から2012年まで—」『法政研究』第81巻第4号（九州大学法学部創立九十周年記念論文集、平成27（2015）年3月刊）

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/1498335/pa758.pdf〉

・七戸克彦（1959～）「九州帝国大学法文学部内証事件—東京帝国大学・京都帝国大学の内紛・辞職事例との比較—」『法政研究』第81巻第4号（九州大学法学部創立九十周年記念論文集、平成27（2015）年3月刊）

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/1498325/p141.pdf〉

・嵐義人（1944～）「朝倉治彦氏の訃報に接して 近世文學會と朝倉氏をめぐる想ひ出より」『澁谷近世』（國學院大學近世文学会会報）第21号（朝倉治彦先生追悼特集、平成27（2015）年3月刊。朝倉治彦：1924～2013）27～30頁（令和5（2023）年10月24日追加）

平成28（2016）年

・嵐義人（1944～）「特別講演録 私の研究生生活を振り返って 律令學とアジア研究（特別講演 私の研究軌跡と大学余話）『アジア文化研究』第23号（『アジア文化研究』編集委員会編、平成28（2016）年6月刊）160～167頁（令和5（2023）年10月24日追加）

平成29（2017）年

・七戸克彦（1959～）「九州帝国大学法文学部と吉野作造（1）—九州帝国大学法文学部内証事件の調停者—」『法政研究』第83巻第4号（平成29（2017）年3月刊）737～811頁

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/1794505/p737.pdf〉

・七戸克彦（1959～）「九州帝国大学法文学部と吉野作造（2・完）—九州帝国大学法文学部内証事件の調停者—」『法政研究』第84巻第1号（平成29（2017）年7月刊）73～156頁

〈<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/recordID/1833534>〉

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/1833534/p079.pdf〉

平成30（2018）年

・嵐義人（1944～）『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』（ようんこしょう、アーツアンドクラフツ、平成30（2018）年3月1日刊）（「第四部 塙保己一・瀧川先生」に前掲「日本法制史の興隆と瀧川博士」、同「瀧川政次郎博士の歩まれし道」、「瀧川博士年譜」、「主要著書」、「私の学生時代」（初出不詳）を収録す。）〈http://www.webarts.co.jp/book/book_124.htm〉

平成 31/令和元 (2019) 年

・西英昭 (1974～) 「中華民国初期における中国法制史学展開過程の一断面——教科書の分析を中心に——」『法政研究』第 86 巻第 2 号 (令和元 (2019) 年 7 月刊) 266～211 頁
<https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/2534547/p266.pdf>

令和 2 (2020) 年

・瀬賀正博 (1970～) 『『校訂令集解』から『令集解釈義』まで—瀧川政次郎氏の講演によせて—』『法史学研究会会報』第 23 号 (小林宏先生米寿記念号、令和 2 年 3 月 30 日刊) 52～61 頁 (令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

令和 3 (2021) 年

・『法史学研究会会報』第 24 号 (島善高先生追悼号、令和 3 年 3 月 30 日刊。令和 2 (2020) 年 9 月 4 日島善高博士 (1952～2020) 逝去。「島善高先生略歴・主要著作目録」、14 氏追悼文あり。

・長又高夫 (1964～) 「「実事求是」を实践した法制史家 瀧川政次郎」『國學院大學学報』第 707 号 (令和 3) 年 12 月 20 日刊) 第 3 面 (連載コラム「学問ノ道」第 39 回)
<<https://www.kokugakuin.ac.jp/assets/uploads/2022/01/d8c65feb87da240a39d724aa59add91c.pdf>>

令和 5 (2023) 年

・北康宏 (1968～) 『中田薫』(人物叢書、吉川弘文館、令和 5 (2023) 年 8 月 1 日刊) 「第八 八 『法制史論集』第一巻刊行—瀧川政次郎破門伝説の真相—」182～186 頁、「第九 一 法学部長就任と九州帝国大学内証事件への関与」195～198 頁
<<http://www.yoshikawa-k.co.jp/book/b626819.html>>

(令和 5 (2023) 年 7 月 17 日追加)

令和 6 (2024) 年

・『CD 版 上山安敏先生・柴田光蔵先生・西村稔先生・宮崎道三郎博士・池辺義象氏・小林宏先生・千賀鶴太郎博士・戸水寛人博士略年譜・著作目録 附録: 「日本ローマ法・法制史学者等略年譜・著作目録・追悼辞」掲載資料抄 (追補) 中田薫博士・瀧川政次郎博士・三浦周行博士・牧健二博士各関係資料抄 —ローマ法・法制史学者著作目録選 (第十六輯) —』(CD 版、令和 6 (2024) 年 1 月 1 日刊) (「瀧川政次郎博士関係資料抄 (八訂稿) (令和 6 (2024) 年 1 月 14 日 (日) 現在)」を収載。) (令和 6 (2024) 年 3 月 5 日追加)

(参考1) 嵐義人先生 (1944～) 御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄

(令和5 (2023) 年10月24日新設追加)

* 嵐義人先生の瀧川博士関係著作については荊木美行 (1959～) 前掲「瀧川政次郎博士と中国法制史」『皇學館大学紀要』第52輯 (平成26 (2014) 年3月10日刊) 補注1 (20頁) 参照。 <<https://kogakkan.repo.nii.ac.jp/records/45>>

昭和57 (1982) 年

・「(専門家訪問) 元満洲国立中央図書館籌備処長 瀧川政次郎氏」『書誌索引展望』第6巻第1号 (昭和57 (1982) 年2月刊) (談話の聞き手: 嵐義人氏) (未見。)

昭和58 (1983) 年

・「恩師歴訪②《明治生まれの史家点描②》 瀧川政次郎博士—法制史学の泰斗—」『歴史研究』第264号 (新人物往来社、昭和58 (1983) 年2月号) 12～17頁

昭和60 (1985) 年

・「日本法制史の興隆と瀧川博士」瀧川政次郎『日本法制史』下 (講談社学術文庫、昭和60 (1985) 年8月刊) ⇒後掲『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』267～278頁に再録。

昭和61 (1986) 年

・「瀧川博士の考証学」瀧川政次郎『日本法律史話』〔講談社学術文庫〕 (講談社、昭和61 (1986) 年3月10日刊) 354～363頁
<<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000002-I000001790656>>

昭和63 (1988) 年

・嵐義人作成「瀧川政次郎論著目録 (稿)」瀧川政次郎『律令の研究』(復刻版) (名著普及会、昭和63 (1988) 年11月30日刊 (原本: 刀江書院、昭和6 (1931) 年9月15日刊) <<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/1269856/1/1>> 中に「瀧川政次郎博士略年譜」(復刻版資料: 151～156頁) 及び嵐義人作成「瀧川政次郎論著目録 (稿)」(復刻版資料: 81～150頁。本「論著目録 (稿)」の意義につき瀧川政次郎「名著普及会再刊本序」3頁参照。) あり。)

平成4 (1992) 年

(瀧川政次郎博士 (1997～1992) 平成4 (1992) 年1月29日逝去)

・「瀧川政次郎博士の生まれし道」『歴史研究』第372号 (新人物往来社、平成4 (1992) 年5月号) 74～79頁 (74頁に「瀧川博士年譜」あり。) ⇒瀧川政次郎『裁判史話』(復刻版) 附録 (燃焼社、平成9 (1997) 年12月25日刊) に改稿の上別冊附録に再録。⇒後掲『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』279～292頁に再々録。(令和6 (2024) 年1月7日一部修正)

・「瀧川先生と昭和史学の進展」『瀧川政次郎先生を偲ぶ』（『回天』追悼特集号、和歌山市・回天発行所、平成4（1992）年6月1日刊）13～18頁

平成9（1997）年

・「瀧川政次郎博士の歩まれし道」瀧川政次郎『裁判史話』（復刻版）（燃焼社、平成9（1997）年12月25日刊）別冊附録（前掲『歴史研究』第372号（新人物往来社、平成4（1992）年5月号）所載稿を改稿の上再録）、同別冊附録には他に荊木美行「瀧川政次郎博士の考証随筆」あり。）（令和6（2024）年1月7日一部修正）

平成21（2009）年

・「律令学者瀧川政次郎と式内社研究—新しい学問のために時代と戦った先達」『式内社のしおり』第78・79号（平成21（2009）年刊）

平成27（2015）年

・「朝倉治彦氏の訃報に接して 近世文学會と朝倉氏をめぐる想ひ出より」『澁谷近世』（國學院大學近世文学會会報）第21号（朝倉治彦先生追悼特集、平成27（2015）年3月刊。朝倉治彦：1924～2013）27～30頁

平成28（2016）年

・「特別講演録 私の研究生生活を振り返って 律令學とアジア研究（特別講演 私の研究軌跡と大学余話）『アジア文化研究』第23号（『アジア文化研究』編集委員会編、平成28（2016）年6月刊）160～167頁

平成30（2018）年

・嵐義人（1944～）『余蘊孤抄 碩学の日本史余話』（ようんこしょう、アーツアンドクラフツ、平成30（2018）年3月1日刊）（「第四部 塙保己一・瀧川先生」に前掲「日本法制史の興隆と瀧川博士」、同「瀧川政次郎博士の歩まれし道」、「瀧川博士年譜」、「主要著書」、「私の学生時代」（初出不詳）を収録す。）〈http://www.webarts.co.jp/book/book_124.htm〉

(参考2) 島善高先生 (1952～2020) 御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄

平成4 (1992) 年

(瀧川政次郎博士 (1997～1992) 平成4 (1992) 年1月29日逝去)

・「律令研究会第二百回記念講演会 (瀧川政次郎先生を偲んで)」『國學院大學日本文化研究所報』第169号 (平成4 (1992) 年11月刊) (『律令法とその周辺』 (汲古書院、平成16 (2004) 年3月刊) 21～33頁に再録。)

挨拶 (小林宏)

諧謔家としての瀧川政次郎先生 (島善高)

瀧川政次郎先生と律令研究会 (下村效: いさお、1926～1996)

・島善高「晩年の瀧川政次郎先生」『古代文化』第44巻第11号 (◇瀧川政次郎博士を偲んで、平成4 (1992) 年11月20日刊) 30～31頁

平成8 (1996) 年

・島善高「明治大学法史学研究室の思いで」『法史学研究会会報』創刊号 (平成8 (1996) 年3月刊) 26～27頁 (⇒3頁に続く。)

・島善高「国立新民学院初探」『早稲田人文自然科学研究』第52号 (平成9 (1997) 年刊) 1～58頁 (<https://core.ac.uk/download/pdf/144445564.pdf>)

平成10 (1998) 年

・島善高「瀧川政次郎博士の芝川栄助氏宛書簡」『法史学研究会会報』第3号 (平成10 (1998) 年3月刊) 6～9頁 (⇒同号3頁に続く。)

(芝川栄助: 1865～1952、<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who4-12541>)、
(<https://www.aero.or.jp/culture/aviationand-culture/20220803-3362/>))

・島善高「北京に於ける瀧川政次郎博士」『國學院大學日本文化研究所報』第202号 (平成10 (1998) 年5月刊) (『律令法とその周辺』 (汲古書院、平成16 (2004) 年3月刊) 34～38頁に再録。)

平成11 (1999) 年

・島善高「中国における瀧川政次郎先生」『古代文化』第51巻第2号 (通巻第481号、特輯: 東アジアの古代法制 (瀧川政次郎先生七回忌記念)、平成11 (1999) 年2月刊) 53～61頁

平成13 (2001) 年

・(参考) 科学研究費成果報告書「日本近代史料情報機関設立の総括的かつ細目に関する研究」(基盤研究 (B) (1)、平成13・14 年度、代表者伊藤隆、課題番号: 13490012)
10. 島 善高氏 しま・よしたか 早稲田大学社会科学部教授
日時: 2001年12月17日 (<http://kins.jp/pdf/42sima.pdf>)

(令和4 (2022) 年9月14日追加)

平成16（2004）年

・國學院大學日本文化研究所編『律令法とその周辺』（汲古書院、平成16（2004）年3月刊。I部に下記律令研究会、瀧川政次郎博士関連稿を収録。）

〈https://www2.kokugakuin.ac.jp/oardijcc/publications/Ritsuryo_Kenkyu〉

律令研究会の発足（瀧川政次郎）

律令研究会第百五十回例会を迎えて（小林宏）

律令研究会について（高塩博）

律令研究会第二百回記念講演会

挨拶（小林宏）

諧謔家としての瀧川政次郎先生（島善高）

瀧川政次郎先生と律令研究会（下村效：いさお、1926～1996）

北京に於ける瀧川政次郎博士（島善高）

『譯註日本律令』の終結に際して（小林宏）

平成18（2006）年

・島善高「瀧川政次郎小伝—東京裁判の頃まで—」瀧川政次郎『東京裁判をさばく』（慧文社、平成18（2006）年11月22日刊）

平成19（2007）年

・島善高「瀧川政次郎氏購入の司法省用漢籍」『法史学研究会会報』第11号（平成19（2007）年2月25日刊）89～103頁（ただし表紙目次は「瀧川政次郎氏購入の司法省所蔵漢籍」とある。）

（令和2（2020）年9月4日島善高先生（1952～2020）逝去。）

令和3（2021）年

・『法史学研究会会報』第24号（島善高先生追悼号、令和3（2021）年3月30日刊。「島善高先生略歴・主要著作目録」、14氏追悼文あり。）

4 「法学博士 瀧川政次郎像」の件

・元々は杉並区成田東所在御旧邸に在りしものか（嵐義人「恩師歴訪②《明治生まれの史家点描②》 瀧川政次郎博士—法制史学の泰斗—」『歴史研究』第264号（新人物往来社、昭和58（1983）年2月号）12～17頁掲載写真に寿像あり。）。（令和5（2023）年10月24日追加）

・「胸像は1968〔昭和43〕年5月26日の日付で、瀧川先生と親交のあった石材商國松幹平氏の寄贈です。この年月日は先生71歳（実年齢満70歳）の誕生日にあたりますので、古希の祝いかと思われます。」（令和6（2024）年3月1日瀬賀正博先生の御教示に拠る。瀬賀先生に厚く御礼申し上げます。同年3月5日追加）

・東京都世田谷区松陰神社墓地所在時の胸像

〈http://soutairoku.com/07_douzou/16_ta/takigawa_masajirou.html〉

・國學院大學学術メディアセンター（AMC）前に移設された「法学博士 瀧川政次郎像」

〈<https://twitter.com/washou3956/status/1154291865589448705>〉

・2020.10.20「吸江寺・瀧川政次郎像」（令和5（2023）年10月24日追加）

〈<https://plaza.rakuten.co.jp/kimagurenakaze/diary/202010200000/>〉

5 その他

・「礫川全次〈コイシカワ・ゼンジ〉のコラムと名言」

〈<https://blog.goo.ne.jp/514303/e/5a143bd2987390adc024f5d447921099>〉

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A4%AB%E5%B7%9D%E5%85%A8%E6%AC%A1>

〉

（了）